

逆境をはね返す紙のまちの底力 70回目の紙初市で70億円超の取引成立



1月7日、株式会社紙業会館（井上治郎代表取締役）が主催する「新春紙初市」がホテルグランフォールでありました。紙初市は、その年の紙市場の景気を占う場として知られており、今年は紙関連企業や問屋など49社が参加しました。

パフォーマンスが披露され、熱気に包まれる中、売り手と買い手がテーブルを囲んで活発な交渉を行いました。そして取引が成立する度に、威勢の良い三本締めの声が響き渡りました。

取引額は昨年を2億円近く上回る70億400万円を記録。過去最高額を更新しました。

このまちの未来を共に創ろう 新年交歓会で決意新たに万歳三唱



年の初めに本市の発展を願い、交流を深める新年交歓会が、1月5日にしこちゅーホールで開かれました。企業や団体から約320人が出席し、新宮・富郷茶のおもてなしを受けながら、年始の言葉を交わしました。

大西市長はいいさつの中で、「産学官が一体となって、本市の魅力に更なる磨きをかけていく」と力強く述べました。

また、行政と市内企業の若手社員による「官民共創プロジェクト」が企画した朗読劇と、三島高校・川之江高校の合同書道パフォーマンスが披露され、「垣根を越えて地域の未来を共に創っていく」というメッセージが発信されました。

紙の20年連続日本一の紙のまち 紙の日を前に書道パフォーマンス



紙の記念日を翌日に控えた12月15日、市役所で「紙のまちランキング」20年連続1位を祝う書道パフォーマンスが行われました。

3畳×5畳の大きな紙に東保育園の園児が手形でミツマタの花を表現し、紙のまちミツマタ大使の大西満王さんらが、本市や紙産業の更なる発展を願う文字を大書しました。

祝 四国コンテンツ映像フェスタ優秀賞 書道の甲子園が四国を元気にする



総務省四国総合通信局などが「四国を元気にする！」をテーマに実施している映像コンテストの最終審査が12月20日に行われ、昨年の第18回書道パフォーマンス甲子園の名シーンを編集したPR動画が、見事優秀賞に輝きました。

受賞作品はこちらでご覧いただけます▼





四国中央市綱引大会 寒さを吹き飛ばす熱戦を繰り広げる

12月21日、恒例の綱引き大会がアリーナ土居で開催され、36チームが参加しました。そろいの衣装をまとった選手たちは、歯を食いしばりながら懸命に綱を引き、その姿に観客は拍手と声援を送りました。また、試合が終わると互いの健康をたえ合い、ハイタッチを交わして親睦を深めました。



四国中央市駅伝競走大会 冬晴れの下290人がたすきをつなぐ

12月7日、浜公園を発着点とする駅伝大会が開催され、6部門に39チームが出場しました。冬晴れの日差しの中、選手たちは沿道からの温かな声援を受けながら、たすきをつないで総距離16キロメートルを走破し、その健脚を競いました。総合優勝（男子・女子）は福助工業 川之江南中駅伝部B



中小学校のICT推進役が集結 サミットで本市小中学生が大活躍

12月13日、東京都渋谷区のグーグル渋谷オフィスで、同社主催の「ジュニアICTリーダーサミット」が開催されました。全国から12のICT教育先進自治体に参加した今回のサミットでは、本市を代表して出席した4人の小中学生が給食をテーマに熱い議論を交わし、課題の解決に挑みました。



伊予土居ライオンズクラブ 明るい社会を目指して横断幕を寄贈

土居地域を拠点にさまざまな奉仕活動を行う伊予土居ライオンズクラブ（岸良一会長・写真中央右）から、7月の「社会を明るくする運動強調月間」に活用してほしいと、横断幕が寄贈されました。12月24日の寄贈式で岸会長は「犯罪や非行の防止を共に支えていきたい」と活動への意欲を示しました。



祝 日光国際音楽祭声楽コンクール 2冠 ソプラノ歌手 森實あかりさんが受賞報告

本市出身のソプラノ歌手・森實あかりさんが、昨年3月に栃木県で開催された声楽コンクールで第1位（公益推進協会賞）に輝き、更に栃木県知事賞を受賞しました。森實さんは12月26日に市役所を訪れ、大西市長に受賞の喜びを報告するとともに、故郷での活動に意欲を示しました。



祝 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園 優勝 土居高校地域デザイン部が喜びの報告

全国の高校生が独創的なサービスや商品の企画などを競い合うコンテストで、自転車を使ったまちづくりのモデルを提案した土居高校地域デザイン部が、見事グランプリを受賞しました。1月9日、受賞報告のため市役所を訪れた同部の5人は、更なる地域貢献へ意欲を見せました。



天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 新居浜東高三鍋一真さんが県代表入り

新居浜東高校陸上部3年生の三鍋一真さん（川之江北中出身）が、1月に広島県で開催された全国駅伝大会の県代表選手に選出されました。

12月22日、市役所で出場報告を行った三鍋さんは、「ランナーとしても選手のサポート役としても、全力で臨みます」と力強く抱負を語りました。



皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 川之江南中岡本杏さんが県代表入り

川之江南中学校陸上部3年生の岡本杏さんが、1月に京都府で開催された全国駅伝大会に、県代表選手として出場しました。

12月18日、出場報告のため市役所を訪れた岡本さんは、昨年は控え選手として大会に参加したことに触れ、「選手として出場できる喜びを胸に、練習に励みたい」と語りました。



空手道の全国大会 日本空手道敬心館の選手が活躍を誓う

日本空手道敬心館（武村敬介館長・三島金子）に所属する小中学生4人が、12月と1月に愛知県と兵庫県で開催された2つの全国大会に出場しました。

4人は大会を前にした12月16日に市役所を訪れ、「日本一になつてきます」と大舞台での活躍を誓いました。

写真左から、大西泉綺さん（三島南中2年）、大西杜和さん（寒川小6年）、大久保綾人さん（中曽根小1年）、瀬戸丸遥さん（土居中3年）



全国都道府県対抗中学バレーボール大会 川之江南中飛鷹蘭さんが県代表入り

川之江南中学校女子バレーボール部2年生の飛鷹蘭さんが、12月に大阪府で開催された全国大会に、チームで唯一の2年生選手として出場しました。

飛鷹さんは、12月17日に出場報告のため市役所を訪れ、「これまでの練習の成果を発揮し、日本一を目指します」と力強く抱負を述べました。



国民スポーツ大会・全日本マスボクシング選手権大会 チヨウノボクシングジムの選手が躍動

チヨウノボクシングジム（児山信吾会長・村松町）で腕を磨いた4人の選手が、昨年開催されたボクシングの全国大会で素晴らしい成績を収めました。

4人は12月26日に市役所を訪れ、大会での熱戦を振り返りながら成績を報告し、次なる目標を語りました。

写真左から、谷晃蔵さん（駒澤大学3年）、石川康太郎さん（明治大学2年）、西哲史さん（HITO病院）、宮田悠慎さん（寒川小5年）

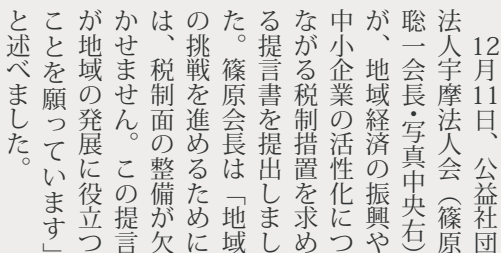


エアロビックスの全国大会 エリエールスポーツクラブの選手が出場

村松町のエリエールスポーツクラブに所属する6人の選手が、1月と2月に静岡県と神奈川県で行われるエアロビックスの全国大会に出場します。

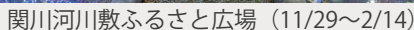
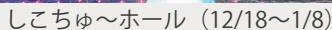
6人は12月24日に市役所を訪れ、「日本一になつてきます」と意気込みを語り、大会での活躍を誓いました。

写真後列左から、森田結捺さん（新居浜高専2年）、高橋姫依さん（三島東中3年）、森田捺珠さん（川之江北中3年）、守谷美飛さん（妻鳥小6年）、佐藤和華さん（同5年）、川井咲菜さん（同4年）



本市では、人口減少に伴う水道料金収入の減少と、老朽化が進む水道施設の更新費用の増加により、水道事業の財政状況が厳しさを増しています。12月15日、市水道事業経営審議会（戴谷智規会長）は、将来にわたり安定して水を供給するため、水道料金の市内統一化が必要であるとの答申を行いました。

イルミネーションが
織りなす本市の夜



今年も市内各所で色とりどりのイルミネーションが点灯し、きらびやかな本市の夜景に、更なる彩りとにぎわいを添えました。

♪ 燧灘から そよ風が

希望をのせて 駆けてくる
 明るい窓に ほほ寄せて

あの夢この夢 語ろうよ
たのしい： 四国中央市♪

に、市役所5階の窓から重要港湾・三島川之江港とその向こうの燧灘を眺めることが日常となった。

今日は円上島が近く感じられ、対岸も良く見えるな。今日はかなり白波が立つとるな。今日は沖待ちの船が3隻もおるな……何れの日も、ガントリークレーンを主役として岸壁の荷役が捗る光景と煙突から出る煙に日本一の紙のまちの息吹を感じ、元気をもらっている。

冒頭の一節は、川之江小学校の校歌1番。末尾の「川之江小学校」を「四国中央市」に置き換えてみた。

明るい窓辺に立つ日常は、6年間歌い続けた校歌がこの身に沁みついてのことだろうか……

♪ 緑に映える
城山が

みんなのゆくえ 祝っている

二洲先生を仰いで

あの業この業 磨こうよ
かがやく… 四国中央市♪

満帆！ 逆風

四国中央市長
大西賢治



創立150周年の記念行事で
寒川、上分、金生第二小学校など
にお招き戴いた。敬老会では、関川、
小富士、松柏、川滝小学校などにも
お邪魔した。そのたびに耳にし、
目にした校歌の歌詞は、何れも良
くできていて素晴らしい。

ふと視線を東の方へ遣ると、城山の川之江城が小さく見える。これも我がまちのシンボルだ。

♪ 大空高く 太陽が

世界の子どもを呼んでいる

臙脂の旗を先頭に

あの道この道 進もうよ

なかよし：四国中央市

今年、金子地区複合一貫輸送ターミナルの港湾整備が正念場を迎える。平時には四国の物流の要衝として、非常時には四国全域の安心安全を瀬戸内の中心から支える防災拠点港として、三島川之江港の更なる機能強化が急務である。暫くは、「えんじ」の旗を担いだ「けんじ」にお力添えを賜りたい。